

## マスタートップ<sup>®</sup> 1060 MASTERTOP<sup>®</sup> 1060

### 帯電防止エポキシ樹脂系塗り床材

マスタートップ1060は、電導性を付与した着色エポキシ樹脂を主成分とする塗り床仕上げ材です。潜在的に帯電している静電気をアースを介して放出し、防爆や防塵などの安全基準を満足します。

#### 特長

1. 一定した電導性能が得られます。  
環境に左右されず常に一定の表面抵抗が得られます。
2. 美装性があります。  
一般のエポキシ樹脂系セルフレベリング床材と同様の感覚でご使用いただけます。
3. 耐摩耗性があります。  
車両や台車等の走行に耐え、表面の光沢を保持します。
4. 経済的です。  
耐久性が高く、メンテナンスフリーのため経済的です。

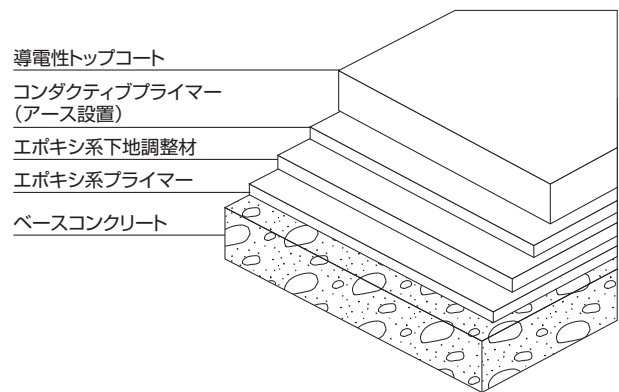
#### 用途

- 静電気による引火・火災・爆発をきらう箇所。
- 静電気による計器や機器の障害をきらう箇所。
- 静電気による塵埃の付着をきらう箇所。

#### 適用例

- ・半導体、電子部品、爆発物、引火物、武器、噴霧商品などを製造・組立貯蔵する床。
- ・コンピューター室、フリーアクセスフロア、無線室、研究室、実験室、静電塗装室、バイオクリン室。
- ・紡績・織物・製紙・印刷工場および作業室。

#### 施工ディテール



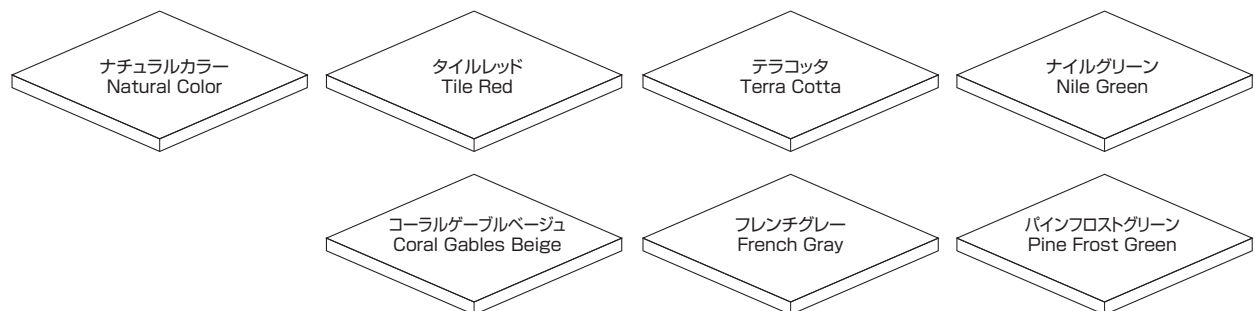
#### 施工厚

- 約 1 mm

#### 標準使用量

- エポキシ系プライマー 0.15 kg/m<sup>2</sup>
- エポキシ系下地調整材 0.2 kg/m<sup>2</sup>
- コンダクティブプライマー 0.2 kg/m<sup>2</sup>  
A材:B材=2:1(重量比)
- トップコート 0.9 kg/m<sup>2</sup>  
A材:B材=5:1(重量比)

#### 色の種類



## 一般物性

試験項目	物性値	試験方法
表面抵抗	$10^7\Omega$ 以下	NFPA No.56A
漏洩抵抗※	$10^7\Omega$ 以下	(National Fire Protection Association) 法
圧縮強度	$66.4\text{N/mm}^2$	
引張強度	$35.4\text{N/mm}^2$	JIS K 6911 「熱硬化性プラスチック一般試験方法」
伸び率	1.1%	
硬度	78	JIS K 7215 「プラスチックのデュロメータ硬さ試験方法」
摩耗質量	200mg	JIS K 7204 「摩耗輪によるプラスチックの摩耗試験方法」250g、1000回、H22
接着強度	$1.9\text{N/mm}^2$ コンクリート破断	建設省建築研究所考案建研式接着力試験 (コンクリート設計基準強度 $F_c=21\text{N/mm}^2$ )

※労働省産業安全研究所推奨値

爆発・火災が発生するおそれのある場所： $10^7\Omega$ 以下(水素、アセチレンのように最小着火エネルギーが0.1mJ未満の可燃性物質を取り扱う工程)

$10^9\Omega$ 以下(炭化水素系液体、粉体のように最小着火エネルギーが0.1mJ以上の可燃性物質を取り扱う工程)

電撃が発生するおそれのある場所： $10^9\Omega$ 以下(粉体の袋詰め、紙・フィルムの巻取り等の工程)

生産障害等が発生するおそれのある場所： $10^7\Omega$ 以下(半導体を取り扱う工程)

$10^9\Omega$ 以下(品質不良、製品の汚れ等が問題となる工程)

## 施工時の注意点

### 新設床の場合

1. コンクリートおよびモルタルの床面は、金ゴテ仕上げ程度の平滑な仕上げ面としてください。
2. 施工面に付着したレイタンス、セメントノロ、ペンキ、泥、油脂類等は、施工前に除去してください。
3. セメントを散布して仕上げられた緻密な表面では、接着力が不足して剥離することがありますので、表面の目荒らしを行ってください。
4. 水勾配がある場合は、事前に下地コンクリート又はモルタルでとってください。
5. 施工面は十分に乾燥していることが必要です。通常、乾燥期間の目安はコンクリートで約4週間、モルタルで2週間以上必要です。
6. 土間、ピット、地下室等の床は、地下水の浸透圧が床材の剥離やふくれの原因となりますので、防水シートを用いる等の防水処理を施してください。
7. 結露しやすい気象条件のときは施工を延期してください。

### 既設床の場合

1. 油脂類は、溶剤や専用の洗浄剤等で洗浄処理を行い除去してください。
2. 床表面の凹部分やクラックは、パテおよび樹脂モルタル等で処理してください。
3. 泥、ほこり、ペンキおよび浮いた箇所等は、施工前に除去してください。
4. 下地にセメント系の床材が施工してある場合には、目荒らしを行ってから施工してください。
5. 施工面は十分に乾燥していることが必要です。

## 取扱上の注意事項

1. 樹脂や溶剤は直接手で触れないでください。
2. 引火性物質のため、施工現場での火気(タバコ、溶接等)は厳禁としてください。
3. 施工現場の換気は十分に行ってください。
4. 樹脂類および溶剤は冷暗所に保管し、火気を近づけないでください。なお、樹脂類の保管期限は、冷暗所で保管した場合約1年間です。



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

## BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階  
混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980  
建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244  
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273  
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487  
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515  
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505  
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218  
(松本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolith.basf.co.jp](http://www.pozzolith.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

